事例No.	1452
公表年度	R3
団体の属性	指定都市
団体名	福岡県福岡市

事例区分	一般行政

タグ	・公共施設活用 ・人材確保・育成

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

公共施設の木質化の実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

福岡県　福岡市（公共施設の木質化の実施）

- 福岡市では、「福岡市内の公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針」を定めるとともに、地域産材を活用した公共施設の木造、木質化を推進している。
- 令和２年度においては、以下のとおり木材利用促進の取組を行った。
  - 鮮魚市場会館のデッキや、区役所（早良区）の手すり・カウンターの木質化を行い、地域産材の利用促進と普及啓発を行った。
  - 市職員を対象とした木材利用に関する研修会を実施した。
  - 令和３年度においては、引き続き公共施設の木質化に取り組むとともに、研修会を継続して実施し、木材利用促進を図る。

□　事業内容

1　公共施設の木質化事業

- 福岡市産材及び福岡県産材を活用し、鮮魚市場会館のデッキや、区役所（早良区）の手すり・カウンターの木質化を実施。

【事　業　費】木工事費44,692千円（うち譲与税30,934千円）
【実　　績】木材使用量28.1㎥



（市場会館のデッキ木質化）



（区役所のカウンター木質化）

2　木材利用に関する研修会の実施

- 公共建築物の企画や発注などに関わる市職員を対象に、木材利用に関する知識を深めるための研修会を実施した。

【事　業　費】483千円（全額譲与税）
【実　　績】研修会参加者　75名（4回開催）



□　工夫・留意した点

- １の事業は、デッキ全体を木の温もりが感じられる、落ち着いた空間にすることで、木質化をＰＲするとともに、手すりには握りやすく、滑りにくい波型のものを採用し、安全面にも配慮した。
- 2の事業は、木材の初歩的な知識や森を育てる木の建築などをテーマに研修会を行った。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	143,502千円
②私有林人工林面積（※１）	3,471ha
③林野率（※２）	32％
④人口（※３）	1,538,681人
⑤林業就業者数（※３）	110人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より